

# Linux/Unixクライアントからの CIS ODBC ドライバのためのトレースを有効にする方法

## 目次

### 概要

[Linux/Unixクライアントの CIS ODBC ドライバのためのトレースを有効にする方法か。](#)

## 概要

この資料に Linux/Unixクライアントからの Cisco インフォメーション・サーバー ( CIS ) 開放型データベース接続 ( ODBC ) ドライバのためのトレースを有効にする方法を記述されています。

## Linux/Unixクライアントの CIS ODBC ドライバのためのトレースを有効にする方法か。

Linuxクライアントの dsn を設定した後、このファイルを探して下さい:  
<Composite\_Home>/compositeXX.xml ( ファイル名は複合のバージョンに基づいて変わります )

デバッグを有効にし、このファイルを編集し、これらのオプションの 1 つをデバッグしたいと思う DSN のためのホスト 要素に追加するため:

```
traceLevel= "デバッグ"
```

または

```
traceLevel= "ヒント"
```

**デバッグ**は完全な詳細プロトコル レベル 詳細を説明します。

**ヒント**はプロトコル レベル ヒントなしでドライバでなされるすべての ODBC 呼び出しを与えます。

**compositeXX.xml** のトレース有効にされた dsn エントリの例はここにあります

ファイル:

```
<connection name="my_test">  
  
<driver name="Composite 5.0" version="5.0.0.0" /> <host name="localhost"  
  
port="9401" uid="test"  
  
password="5EA27D000D0AB84D"
```

```
datasource="ds"
```

```
catalog="cat"
```

```
domain="composite" traceLevel="debug" /> </connection>
```

**注:** スtring **traceLevel** は大文字/小文字の区別があります。

この dsn によるクライアント接続を作った後、新しいファイル

**CsOdbcDebug.txt** ファイルは <Composite\_Home> ディレクトリに現われます。